



【校訓】

三つの木
・働きく知
・勇きく徳
・根きく体

【学校だより】

夢への道

【学校教育目標】

郷土に誇りを持ち 未来を拓く 心豊かな子どもの育成
～「本気」と「徹底」で強い子どもを育てる～

合志小 HP



【令和5年度（NO. 4） 合志小学校】

令和5年7月20日（木）文責 森田

オープンスクール

7月7日にオープンスクールを実施しました。前期前半の子どもたちの成長ぶりはいかがだったでしょうか？

特に1年生は、就学前教育後、学級・学校という集団生活の中で、1～5校時までの授業をしっかりと学習規律の中で受ける練習を重ねてきました。「グー、ペタ、ピン」を合い言葉に姿勢良く座り、大きな声で「はいっ」と返事をして、発表者の方におへそを向けて話を聞く、そんな姿に、成長を感じられたことと思います。

子どもたちも、お家の人に観てもらえる喜びから、一生懸命に頑張っていたようです。

今後も、授業参観等を企画して参りますので、ご都合がつかれる限り、子どもたちの成長・頑張りを観に来られてください。



授業研究

私たち教職員は、毎週水曜日に、全員で研修を行っています。それは、社会がめまぐるしく変化しているため、子どもたちに求められる資質・能力も変わってきているからです。目の前の子どもたちが、将来、社会の中で生きていくために必要な資質・能力を育てるために、私たち教職員の意識や技能も変容させていかなければなりません。

その研修の主たるものが授業研究です。

合志市は小中一貫教育を進めています。そこで、合志中学校区の3小1中(合志小・合志南小・南ヶ丘小・合志中)は、下記の共通した研究主題で研修を重ねています。

主体的・対話的で深い学びのある 授業改善を目指して

今年度も全学級で、研究授業を行い、成果と課題を明らかにしながら研修を積み重ねています。



思考の形成と、対話による深まり

学習規律の徹底
(話の聴き方)



夏休みは自立への一歩

明日から夏休みです。子どもたちが待ちに待った遊びと冒険の日々です。それはそれでいいのですが、大事にしてほしい視点があります。

昨日までに三者面談を実施いたしました。これは、3学期制から2学期制に移行したことで、より学校と児童・保護者が直接お話をし、「共に育てる」という機会を持てるようになったことで企画したものです。

面談では、学習面と生活面について、子どもたちの頑張りやすさ、そして、あと少し力をつけてほしい課題等についてもお話させていただきました。

それは、夏休みに、学習面と生活面で、目標を持って取り組んでいく生活を送ってほしいからです。夏休みこそ、自立への一歩を踏み出す絶好の機会だからです。

ご家庭で取り組んでほしいことがあります。

1つ目は、学習です。前期後半からぐんぐん伸びるために、あと少し頑張るべき内容を明らかにして取り組む支援をしてください。

2つ目は家庭での役割を決め、継続して行う支援をしてください。玄關掃除でも、洗濯でも何でもいいです。家族のために力を発揮する力を伸ばしてください。

だらだらと過ごしたり、何でも大人にしてもらったりする夏休みでは力つきません。ぜひ、目標を持って学習し、家族の中での役割をやり遂げる夏休みを過ごすことで、自立への力をつけてほしいものです。

自らの課題解決に計画的に取り組む力や、自分の役割を「当たり前」にできる力を、この夏休みを有効に使って育てていきましょう。将来の「生きる力」そのものなのですから。